

社民党

渡辺みのる通信

● 第 36 号 ●

発行日/2016年(平成28)7月
 発行/渡辺みのる後援会
 石川町大字北山形字引地1
 電話&FAX 0247-26-6994
 携帯 090-2798-0434



写真説明

田の畦道を歩いていると、湿地を好むミゾカクシの花が背の高い草むらの根元に咲いていました。花は一風変わっていて、唇形で上唇が2裂、下唇が3裂、白色に紅紫色をおびています。別名、田のあぜに広がるので、アゼムシロの名があります。

新庁舎、9月5日から業務開始 現庁舎～新庁舎へマイクロバス運行

役場新庁舎も完成し、9月5日(月)から業務が開始されることになりました。それに伴うバスの運行や公民館での住民票などの発行が開始されます。

また、旧石川小学校の文教福祉複合施設への整備改修が行われます。

6月議会は9日(木)～15(水)まで開催。国保税の改定や一般会計補正予算を審議し、可決しました。

又、国からの「被災児童生徒就学支援等事業交付金」による十分な就学支援を要請する意見書の提出を求める請願を採択し、意見書を復興大臣、文部科学大臣等に送付しました。

特に、文教福祉複合施設への整備改修は、公民館の移転や図書館の設置が計画されており、町民の目線や建設への参画が大事で、更に充実した施設にしていかなければなりません。

一般質問は4人でした。「文教複合施設整備計画」「母畑レークサイドセンターの今後のあり方」「直売所設置計画」の3点を質問しました。

夏野菜を食べて、元気に夏を乗り切ろう

旬の野菜は、その時期に起こりやすい体調の変化を防ぐための栄養素が多く含まれています。夏の野菜、キュウリ、ナス、トマト、ピーマンなどは紫外線による酸化作用をはねのけるポリフェノール類やカロチノイド、ビタミンCやEなどが多く含まれています。

夏は、暑さに対応するため、体温を下げるのが大事、体のだるさ、食欲が落ちる場合はカリウムを補い、余分なナトリウムを排出し、便秘を解消して代謝を助けること。紫外線対策にはカロチノイドやビタミンC及び抗酸化作用の多い食材を利用しましょう。トマトはカロチノイドの一種であるリコピン、血圧を安定させるルチン、ビタミンC、カロチン、カリウムを含んでいます。

ナスは、紫色のナスニンと渋みのクロロゲンというポリフェノールを含み、抗酸化作用があります。

キュウリやピーマンもカリウム、ビタミンC、カロチン等を含んでいます。



カリウム含有量の多いミニトマト

◆一般質問から◆

渡辺：公民館、図書館整備に整備基本方針の策定を 町長：既存の委員会で検討する

渡辺 文教福祉複合施設の概要を伺う。

町長 旧石川小の東校舎と増築部、2807㎡を耐震、大規模改修し、子ども遊び場、子育てサロン、放課後児童クラブを設置、公民館を移し、図書スペースの拡充を図ります。

渡辺 施設ごとに整備基本計画の策定が必要、その考えは。

町長 施設ごとに現状や課題を整理し、整備目標や方針、基本機能など整備計画にまとめ、それを全体計画にまとめます。

渡辺 利用者や専門家を入れて整備計画を策定すべきと思うが、考えは。

町長 子ども子育て会議、生涯学習推進本部、社会教育委員など既存の委員会を想定しています。更に、「みんなの施設を考えるワークショップ」を開催し、実施計画に反映させます。

渡辺 公民館が元気がなく、利用者数、事業数も減ってきている。今回の移転でどのような公民館を目指すのか。

教育長 社会教育施設として発展させます。

渡辺 施設と人の充実が大事である。計画では会議室が減るようだが、充実するのか。

教育長 面積は増えます。改善した施設にします。

渡辺 人的体制はどうするのか。

教育長 教育委員会の立場で、公民館職員の増を要望していきます。

渡辺 独立館から複合施設になる。施設や人的体制が充実する姿が具体的に見えないと、現施設の整備で良いという声が聞こえそうです。教育委員会として整備計画を策定すべきである。教育委員会の主体性が弱いのではないか。

教育長 社会教育委員会から議論を出発します。生涯学習センターとしていくべきと考えています。利用者や団体等の協議も検討します。

渡辺 生涯学習センターでなく、慣れ親しんだ公民館、図書館という施設名でよいと思うが。

教育長 今後の検討課題になります。

渡辺 公民館の課題として、地区公民館60年の歴史をまとめ、成果と課題を明らかにしてほしい、更に開かれた公民館にするため公民館運営審議会を設置してほしい、要望です。



子ども甲状腺がんを、なぜ放射能の影響にしないのか

福島県では、福島原発事故に伴い、18歳以下の子ども38万人を対象に、甲状腺エコーによるスクリーニング検査を行っています。結果、「悪性ないし悪性の疑い」と診断された子どもは、1巡目で116人、2巡目で51人、計167人が見つかっています。その内、116人が甲状腺の摘出手術を受けています。

しかし、県民健康調査検討委員会は、「通常の有病率に比して数十倍のオーダーでがん発見が多い」としながら、「放射能の影響は考えにくい」と結論付けています。

河合弘之弁護士は、「放射能の害はないからと、放射能がまき散らされても原発はそれほど怖くないと思わせることで原発再稼働ができる論理に結びやすい」と指摘しています。

患者家族は「放射能の影響が考えにくいとするならば原因を知りたい」と訴えています。

突然、「甲状腺がん」と診断された子どもたちや家族は、その瞬間から、「がん」と向き合わなければなりません。

甲状腺全摘出の場合は、生涯薬を飲み続ける必要がありますし、転移や再発の不安も常に付きまといまいます。

県立医大の治療情報の開示や医療費の支援を含めた患者本位の医療支援、生活の質を高める支援、早急な因果関係の究明が必要です。

(月刊社会民主6月号より)



▲湿地に生えるミゾホウズキ

渡辺：図書館設置の基本方針は 教育長：図書運営委員会を開催し、検討する

渡辺 図書館の充実はどのようになるのか。

教育長 スペースが今の倍になります。司書を配置し、全国の図書館とつながりができます。

渡辺 新しく図書館を設置するのだから、検討委員会が必要で、基本方針を策定すべきと思うが。

教育長 図書運営委員会を開き検討します。そこで検討委員会が必要となれば、検討します。

渡辺 放課後児童クラブ、子ども遊び場、子育てサロンの施設整備の考え方を伺う。

町長 常設の専用施設となるので、基本的には利用者の利用したい時に対応ができるようになります。利用者の意見を聞きながら整備を進めていきます。

◆一般質問から◆

渡辺：母畑レークサイドセンター、今後のあり方は
町長：「いこいの広場」でなく、体育施設に転換する



▲6月16日、町議会の新庁舎工事現場視察

渡辺 母畑レークサイドセンターの今後のあり方と施設整備の考えを伺う。

町長 「いこいの広場」としてではなく、体育施設への転換を考えています。バンガローやテニスコートは大規模な改修はしない。指定管理者制度の導入や運営委員会の解散も視野に入れて検討していきます。長期的に検討していきます。

渡辺 スケート場の存続の考えは。

町長 大規模の整備更新には対応できないので、その時点で廃止したいと考えています。

渡辺 直売所はいつ

町長 早い時期に場所を選定

渡辺 直売所の検討状況を伺う。

町長 東日本大震災以降、具体的計画に至っていません。要望が高いので、検討していきます。

渡辺 直売所の設置は生産者の育成を同時に進めなければならない。早期の方針化が大事であるが。

町長 早く場所を選定していきます。

石川小急傾斜地対策に3千6百万円を予算化
6月議会で9千3百万円の増を可決

一般会計の補正予算は9千3百万円増で、次の主な事業が取り組まれます。

- ①広域営農団地農道整備事業負担金(中田論田線) 18,711千円
- ②雇用促進住宅耐震診断 5,000千円
- ③石川小建設事業(急傾斜地対策) 36,000千円
- ④野木沢小施設整備事業 15,000千円
- ⑤旧森林技術センター駐車場舗装 5,000千円
- ⑥地域公共交通活性化協議会負担金 4,500千円

子どもたちの未来のために③⑥

戦争に「ノー」と言える
若者を育てよう

参議院選挙が終わりました。選挙区を見ると、東北地方と沖縄以外はほぼ改憲派が当選するという結果になりました。このことが、平和な未来にとってマイナスにならないことを願うばかりです。

今回の選挙は、選挙年齢が引き下げられ18歳・19歳にも選挙権が与えられました。71年ぶりの改正ですが、71年前の改正はというと、「女性の参政権行使」でした。多くの女性が、「これで一人前の人間として認められた」と喜び、誇りをもって一票を投じたといいます。戦後第一回目の選挙は、男性だけの考えで政治が進められていた時代に、終止符が打たれた瞬間でもありました。

戦争に反対する権利がなかった女性たち。我が子を戦場に送りたくないと言えず、息子を戦場で失っても表で泣くこともできなかった母親たち。今は、戦争に進もうとする国のあり方に、女性はNOということが出来ます。若者の票も増えました。NO!とはっきり言える人を育てることも、教育の大きな役割です。

今年も、戦争の史実に触れ、平和を考える「8月」がやってきます。日本が、これからも「戦後〇年」であり続けることを願っています。

(K.H)



▲ハート形の葉、茎はつる性、名はイケマ

● 平成28年度国民健康保険税の課税内容を可決 ●

昨年と比較して、課税限度額が4万円増の89万円になるものの、医療分・後期高齢者支援金・介護納付金の何れも、所得割の率が減額、均等割・平等割の額も減額となり、一世帯当たり213,927円(28,338円減額)、一人当たり126,590円(15,494円減額)となりました。決算剰余金77,000千円を充当したためです。

文教福祉複合施設の概要が明らかに 町民のニーズにこたえ、施設、人の充実を

5月27日の議員全員協議会で、旧石川小学校の耐震、改修事業(文教福祉複合施設)整備計画(案)が示されました。東校舎と増築部を改修し、仮称子ども支援センター(遊び場、子育てサロン、放課後児童クラブ)と仮称生涯学習センター(図書館、公民館、音楽室、調理室)に活用する計画です。費用は、基本設計概算で6億6千万円です。その概要は次のとおりです。

3F 生涯学習センター(仮称)

トイレ

エレベーター	大会議室 170.64㎡	和室 56.44㎡	会議室①、② 各56.88㎡	調理実習室 56.88㎡	音楽室 102.44㎡
--------	-----------------	--------------	-------------------	-----------------	----------------

2F 子ども支援センター(仮称)

トイレ

エレベーター	多目的 ルーム	児童クラブ 170.64㎡	子育てサロン 170.64㎡	屋内遊び場 200.94㎡
--------	------------	------------------	-------------------	------------------

1F 生涯学習センター(仮称)

トイレ

エレベーター 玄関	事務所	オープンスペース 170.64㎡	図書スペース 435.14㎡
ウッドデッキ			

「県の石」に、 石川のペグマタイト鉱物が選ばれる

5月10日、日本地質学会は全国47都道府県ごとに「県の石」(岩石、鉱物、化石)を選定し、発表しました。学会結成125周年記念事業として、2年間の検討を経て選定しました。

福島県の「県の石」に、岩石では片麻岩(主要産地阿武隈高原)、鉱物ではペグマタイト鉱物(主要産地石川町)、化石ではフタバスズキリュウ(主要産地いわき市大久町)が選ばれました。

鉱物の選定理由は、「ペグマタイトは、地下深い場所でマグマから花崗岩がつくられた後、残りの揮発成分の多い残留マグマが岩石の割れ目に入り込んで形成されたもので、巨大な鉱物の結晶を含み巨晶花崗岩とも呼ばれている。石川地方のペグマタイト鉱物は、白亜紀(注)の花崗岩から産出し、石英、長石、雲母、電気石など結晶が特に大きく、また希元素鉱物や放射性元素を含む鉱物を数多く産出することで全国的に有名である」と。

(注) 白亜紀は地球の地質時代の一つで、約1億4500万年前から6600万年前を指し、恐竜が活動していた時代です。

昭和30年代まで石川では、ペグマタイト鉱物の長石(陶磁器の釉)、石英(ガラスやレンズの原料)が掘り出され、町の大切な産業として栄えました。鉱山跡は数十ヶ所見つかっています。この時一緒に掘り出された水晶や電気石、ザクロ石、放射性鉱物(サマルスキー石、モナズ石など)は全国の博物館に展示されています。

現在、石川地方のペグマタイト鉱物は80種類が確認されており、この中には国産新鉱物第1号の「石川石」や新産鉱物「ブッチャー石」などがあります。

江戸時代には石川の雲母や粘土は壁材や焼き物の原料に利用され、採掘された記録も残されています。

又、岩石の片麻岩も中谷や山橋地区からも産出しています。私たちには、いつも見ている石ですが、「県の石」選定を機会に、地球の贈り物「岩石、鉱物」を見直して、町の宝物にしていきたいものです。



鉄ばんザクロ石
(石川町立歴史民俗資料館蔵)